



こあゆ

こ根気よく考える子ども
あ明るく元気な子ども
ゆ豊かな心で思いやりの
ある子ども

発行/厚木市立小鮎小学校
発行者/校長 森山 勝美
発行日/平成 22 年 10 月 15 日
児童数/495人
家庭数/378家庭



子ども達のがんばり

校長 森山 勝美

平常心が大事といわれている。大きな舞台でも平常心を保てるかどうかで、自分の実力を発揮できるかどうかの境になるかもしれない。運動会で子ども達は自分の力を精一杯発揮していたように感じられる。子ども達は緊張しつつも平常心で取り組めたのではないか。これは、練習をしっかりとしたという自信がもたらす結果だと思う。暑い中、練習に励んだ成果が運動会で表せたことによって、子ども達も更なる大きな自信を持ったことだろう。

運動会をとおしての子ども達の成長をきっかけとして、これからの教育活動を展開していきたい。

子ども達に温かい声援を送っていただいた皆様方に感謝したい。



< 2年生 >

太鼓のリズムによって踊る和風のダンス『火炎太鼓～The・祭り～』という表現に取り組みました。パチを持ったまま踊ったり、隊形移動が2回あったりと、動きの難しい部分がありましたが、子どもたちはどんどん振り付けを覚え、予定していたよりも早く完成することができました。本番では素敵な衣装に身をつつみ、練習の成果を発揮して、踊ることができました。観客のみなさんにも、元気いっぱいな2年生の姿が見せられたのではないかと思います。



「薫風最上川」とは大仰なネーミングで驚いたと思います。これは女の子の踊りで、本場山形で多く踊られる正調「花笠音頭」の正式名称です。男子は、今年「山形第一小学校6年生」が踊った蔵王地方の振り付けが元になっている踊りでした。

< 3年生 >



昨年のような一斉に笠をまわす場面がなくなった代わりに、笠を2種類用意したり、けやりなどもつけたりして、祭りの華やかさをだしてみました。練習の時には、そろわなかったり、表現がもう一つだったのですが、踊りを覚えてくると踊りにのれる児童も出てきて、その成果は本番でご覧になった通りです。また、笠づくりには3年生保護者の方にも手伝っていただきました。ありがとうございました。民舞ですから、機会があるごとに思い出したいと思います。良い思い出をつくってあげられたと担任一同、満足感に浸っています。

この経験を通して、一回り大きくなった一年生です。応援ありがとうございました。

トピックニュース

運動会特集です。各学年が思いを込めて記しましたので、両面に渡る掲載になりました。4年生からは裏面です。ご覧ください。

運動会特集 1～3年生編

< 1年生 > ～ゆかい・つうかい・かいぶつくん～

初めての運動会、子どもたちは練習の時から一人ひとりががんばり、とても楽しみにしていました。ダンスで、「かいぶつくんをやるよ。」と言うと、「やりたーい。」と言う声



がすぐに返ってきました。動きや隊形を覚えるのもとてもはやかかったです。

本番も、一生懸命、笑顔で踊る姿が印象的でした。

この経験を通して、一回り大きくなった一年生です。応援ありがとうございました。

お知らせ・お願いあれこれ

野生動物出没注意!



上古沢地区の熊出没および捕獲については、市防災放送や新聞報道、学校からの通知でご承知のことと存じます。

小鮎地区には、熊以外にも猿や鹿が出没しているようです。学校からの通知でもお伝えしておりますが、出くわしたときの対処等ご家庭においても話題にしていきたいと思っております。

また、登下校の際、子ども見守り隊やしあわせクラブやボランティアの会等地域の方々に見守っていただいております。心より感謝申し上げます。



学校へ行こう週間

18日(月)の授業参観と懇談会を皮切りに22日(金)まで学校へ行こう週間です。休み時間や給食など普段の学校生活の様子をご覧ください。

なお、ご来校の際は、名札や上ばきをお忘れのないようご協力ください。



しんらと
たし、しあ
ゆかまお
うてしが
したたか
てん。つ
つでがた
よすんと
くよばき
なねっ、
り。たほ
まれかつ

すでうう
。もれでば
たがし1く
のんかばは、
しばっん、
かつたに5
たでな0
たですりめ
た。まー
す。もじしと
いぶたる
まん。そ

一年生初めての作文運動会

